第 49 回　関西ライフサイエンス
リーディングサイエンティストセミナー

本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開されている関西の先生方にご講演をいただき、製薬、医療機器、診断薬、健康食品、医療関係者などのライフサイエンス関係者および一般の方々に、健康・医療産業に対するインスピレーションと産業化へのイマジネーションを感じていただくことを目的としています。

このことは、産官学にわたる組織横断的なコミュニティーの醸成と、産官学の対話促進につながるものと期待しています。

本セミナーは、3 か月に一度の頻度で開催し、毎回 2 名の講師の先生から、最先端の研究についてホットな話題をお聞きいただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

日　時：2026 年 12 月 3 日（木）　14:00－16:00

開催方法：オンライン開催

◆zoom ウェビナーを使用します

参加費：無料

主　催：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議

共　催：バイオコミュニティ関西（BiocK）

後　援：関西医薬品協会

講演Ⅰ　14：00 － 15：00

「直鎖状ユビキチン鎖による炎症・細胞死制御と神経変性疾患研究への展開」

大阪公立大学　理事・副学長（研究戦略・技術インキュベーション・国際戦略）

徳永　文稔　氏

「ユビキチン化を介したタンパク質分解」の発見によりノーベル化学賞が授与されてから 20 年以上が経過した。この間に、ユビキチン鎖の多様な連結様式や基質、さらにはそれらが担う細胞機能が次々と明らかとなり、ユビキチンシステムは、がん、炎症 性疾患、神経変性疾患をはじめとする多くの病態に関与することが示されてきた。また、創薬標的としても大きな注目を集めている。本講演では、我々が見出したユビキチンの N 末端を介した直鎖状ユビキチン鎖による炎症シグナルおよび細胞死の制御機構を中心に、その阻害剤開発の現状と筋委縮症側索硬化症（ALS）との関連について紹介する。

講演Ⅱ　15：00 - 16：00

「体細胞モザイク―遺伝子変異クローンによる組織の再構築とクローン進化」

京都大学大学院医学研究科　消化器内科学　特定講師

垣内 伸之　氏

個体内に遺伝情報の異なる細胞が共存する状態を“モザイク”と呼ぶ。近年、正常細胞にも加齢などに伴って遺伝子変異が蓄積し、細胞が遺伝的多様性を獲得し続けることが明らかとなった。その結果、正常組織においても、がんのドライバー変異などを獲得した細胞が選択され、クローン拡大していることが示されている。本講演では、この“体細胞モザイク”の概念と、その形成機構や生物学的意義について最新の知見を紹介する。

申込先：参加希望者は 2026 年 12 月 2 日（水）までに、

NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議のホームページからお申込みください。

URL： https://kinkibio.com/informations/6264

こちらからもお申込みいただけます

問合先：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局　電話：06-4963-2107（櫻井・大嶋）